



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成29年9月号

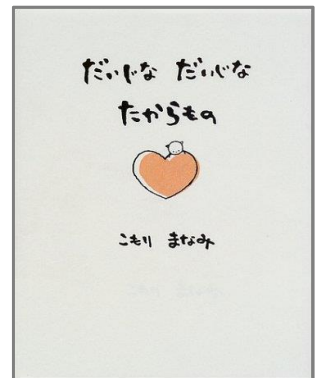
今月のオススメ📖

《だいじな だいじな たからもの》 著者：こもり まなみ

あい、まい、みいという3匹の姉妹の子猫の話。末っ子のみいがお姉ちゃん達と自分を比較して、自分はいらない子、邪魔な子だと思いつめてしまう。

そして、とうとう家出をして独りぼっちになる。大きな銀杏（いちよう）の木に登り、いろいろ考えていると、お母さんが自分をさがしていることを銀杏のおじいさんが教えてくれる。おじいさんの話を聞き、自分の足で木を降りお母さんと一緒に家へ帰るというお話。末っ子のみいは、何か大切なものを見つけたようです。

この本を読むと心があたたかくなるので元気になりたい人、心があたたかくなりたい人にオススメの本です。また、絵本なので小説が苦手な人や読む時間がない忙しい人でも読めます。この絵本は共感することが多くとても感動するのでぜひ読んでみてください。(AM)



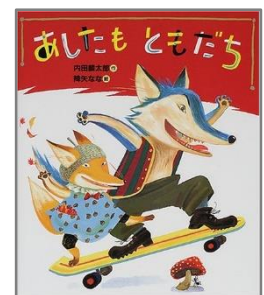
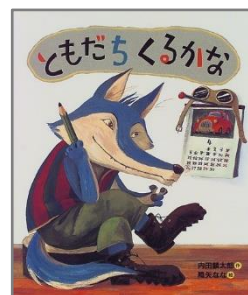
絵本のオススメ😊

《ともだちやシリーズ》 作：内田 麟太郎 絵：降矢 なな

キツネは、“ともだちや”を始めます。♪さびしい人はいませんか～ 1時間100円、2時間200円♪お金をもらって“ともだちごっこ”をしても、ちっとも楽しくありません。そんなときオオカミに「おい、きつね」と声をかけられます。2人は意気投合し、楽しいひと時を過ごします。別れ際、ともだちやのキツネはオオカミに申し訳なさそうに「お代を～」と、お金を要求します。オオカミは目を三角にして、「おまえは、ともだちから金を取るのか～！」と……。そして、オオカミはお代の代わりに自分が一番大切にしているミニカーをキツネにプレゼントします。そこから、キツネとオオカミの友情が始まります。

些細なことでケンカをしながら2人は友情を深めていきます。その時々で、2人の友情が破綻しかける度に、互いに相手に対して感動的な言葉を発します。絵本と侮るなかれ！ 人として大切なことを教えてくれます。まあ、人じゃなくて登場人物？は、みんな動物なんですけどね(笑)

降矢ななさんの絵もとても素敵です。1冊ごとに違うキツネの衣装がオシャレで楽しいですよ♪



先生のオススメ

庄谷 千鶴子 先生

《夜のピクニック》 著者：恩田 陸 吉川英治文学新人賞・本屋大賞受賞作品！

甲田貴子が通う高校には、全校生徒が24時間かけて80kmを歩く「歩行祭」という伝統行事がある。3年生の貴子は、最後の歩行祭、1年に1度の特別なこの日に、自分の中である賭けをしていた。誰にも言えなかった秘密を清算するために。

☆生徒へひと言☆

この作品は、学校行事の「歩行祭」を舞台に、高校生達がただひたすら歩くだけの物語。でも、高校時代だからこそこの「特別な時間」を感じられる作品です。

今年のナイトハイクは終わってしまいましたが、来年参加しようかなあと考えている人は、こんな「特別な時間」を体験してみたいと思うはず。ぜひ、高校時代に読んでおいてほしい作品です。



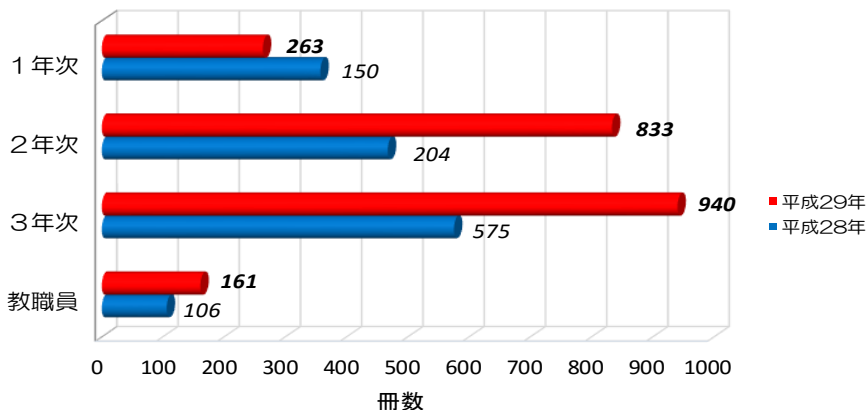
余談 作中「歩行祭」の設定は、恩田さんの母校（水戸第一高等学校）の行事をそのまま使ったそうです。もちろん恩田さん自身も「歩行祭」に参加したそうです。卒業からかなりの年月が経ちますが、真っ暗な山の中のアスファルトの道路にみんなで寝転がって、星の海に落ちていくような気持ちを味わったことを鮮明に覚えているそうですよ。当時は千人の生徒が列をなしてゾロゾロ歩いたそうです。

他にも高校を舞台にした『六番目の小夜子』『球形の季節』があります。『夜のピクニック』を加え高校三部作だそうです。『図書室の海』という短編集には、『夜のピクニック』の予告編ともいえる「ピクニックの準備」という短編もあります。

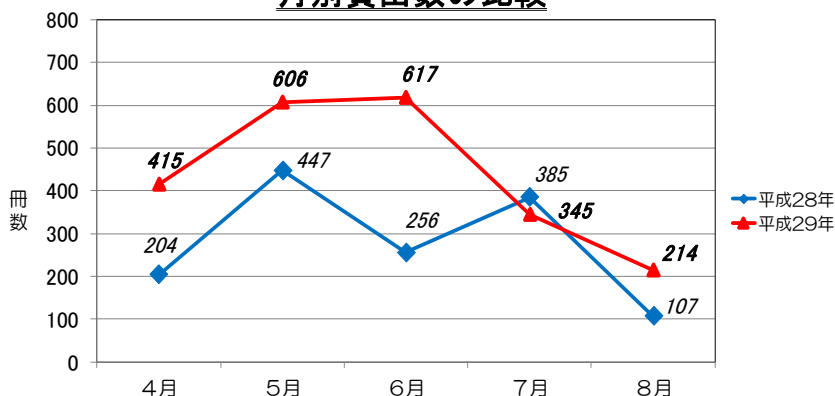
図書貸出数

(4月～8月)

年次別貸出数の比較



月別貸出数の比較



図書委員会より

4月から8月までの貸し出し冊数が、前年度比 637 冊増になっています。今年度は、1年次が1クラス減になっているにもかかわらず8月現在でトータル **2197 冊** になりました。

今年度から1・2年次生の朝自習が朝読になりましたね。図書委員会でも「LIBRARY」で図書に関する情報をどんどん発信していきたいと思ひます。